

令和4年度 第3回多職種連携研修会アンケート結果報告

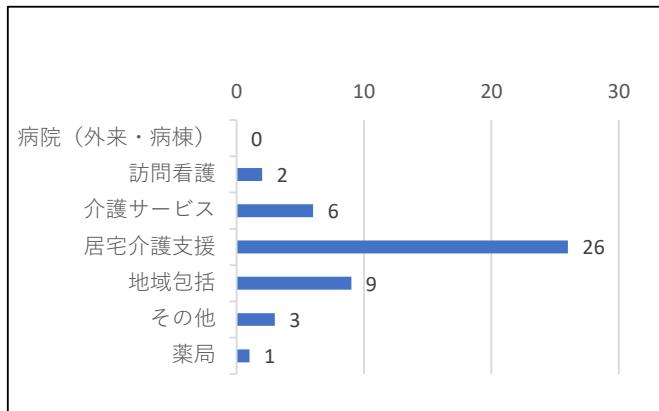
開催日時：令和4年9月29日（木）13時30分～15時

研修方法：Zoomによるオンライン参加

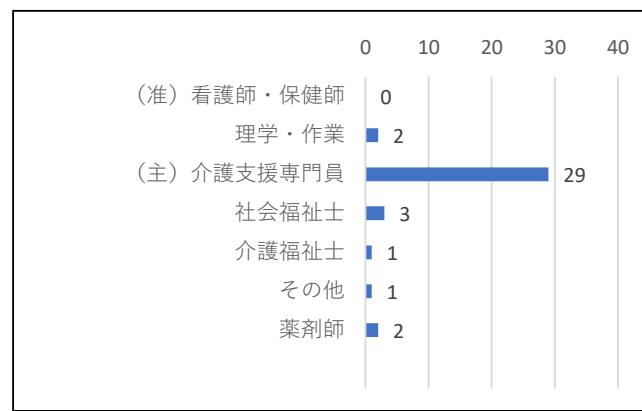
参加申込人数：70名

アンケート回答：50名 回答率71%

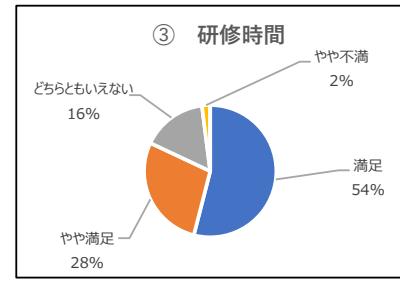
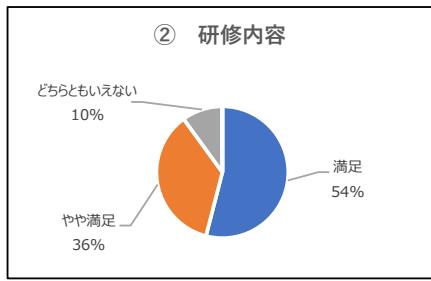
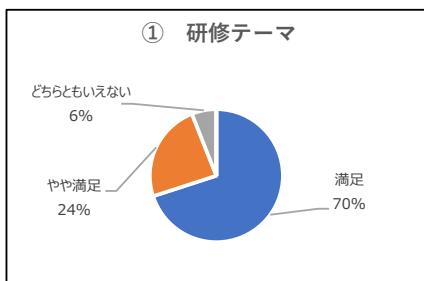
1 事業所種別



2 職種別



3 研修会について



①～③を選択した理由について（同様意見件数）

【満足・やや満足】

«(准)看護師・保健師»

- ・色々な職種とグループワークをすることで日頃気付けないこと、気付いても行動に移せていないことを改めて考えさせられた。
- ・高齢者に多い疾患をテーマに3回の分け開催してもらったことで、疾患についての理解を高めることができた。

«理学・作業療法士»

- ・情報共有の選択の幅が増した。
- ・症例として挙げたケースについて、担当した医師からの意見も聞けるとなお良かったと思う。

«(主)介護支援専門員»

- ・グループワーク、顔がよく見えて嬉しかった。
- ・心不全のリスクについて3回にわたり学ぶことができよかった。繰り返しテーマにしてもらえるとより理解しやすい。グループワークの時間がやや短く、オンラインであったため、途中聞き取りにくいところがあった。
- ・3回目ということもあり、色々な意見がとびかいとてもいい研修会だった。

«社会福祉士»

- ・心不全をテーマに気付き、普段の状態を把握することの大切さや情報共有の重要性を改めて感じた。グループワークの議題がしぶりづらく、あまり議論ができなかった。

«介護福祉士»

症状がみられる方がおられても、なかなか受診につなげることができない現状がある。日頃の様子を観察し、横の連携と情報共有があることで、変化を見逃さず、受診につなげていくことが大事である。

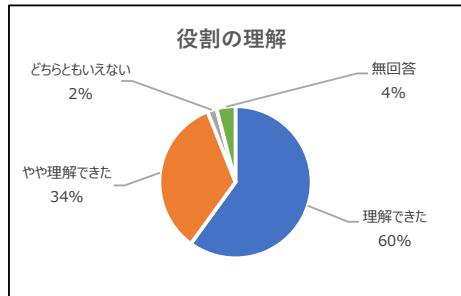
«その他»

- ・施設内で毎日入居者を見ている中で、徐々に進行していると本人も自覚なく、大きく変化がないと気づきにくい事が多いが、心不全の観察ポイントを再確認する機会となりよかったです。

【どちらともいえない・やや不満・不満】

- ・講演会のテーマは良いが、さらに突き詰めた内容を次回期待したい。各職種、各事業所の緊急時フローシートの持ち寄りとか。
- ・多職種連携としては、時間、内容はいいと思うが、事例をもう少し具体的にしてほしかった。
- ・グループワークの時間長かった。（3）
- ・事例→グループワークまでの時間、グループワーク→全体発表までの時間が早すぎた。

4 役割の理解について



«理解できた・やや理解できた» (同様意見件数)

- ・職種の違いがあっても、見る視点を合わせることで、受診の目安につながり、情報共有することができる。
- ・各専門職のできる事、できない事が理解できた。
- ・ケアマネ2名とのグループワークだったが、ケアマネ→医療機関との連携が難しいこと。それを解決するために自分達が何ができるのかを考え、行動することを改めて確認するきっかけになった。
- ・介護支援専門員の立場としての話が聞け、どのように対応されているのか、どのように考えられているのか参考になった。
- ・多職種からの話を聞き、情報共有の大切さを理解できた。

- ・薬剤師さんより、どんなサービスを利用しているか、担当ケアマネが誰なのかわからないといった内容を伺った。また、ケアマネの名刺を薬手帳に挟んでおくというアイディアは取り入れたいと思う。少しでも横のつながりができ、情報の共有ができるといふと思う。
- ・ケアマネの立場として、医療の知識は不足しており、自ら学ばないといけないが、やはり自分の判断ではなく、専門職からの助言をうけて利用者の支援にあたる。異変を感じた時に早急に動くことが大事だと思った。
- ・各グループからの発表を聞いて、リハ、薬局、歯科医師、看護師等からの意見が私たちとは違った視点からの意見だったので新鮮で気付かされた。
- ・多職種の意見が聞けたのはとても良かった。顔のわかる関係づくりはとても良いと思った。（5）

5 今回の研修会に参加しての感想（自由記載）

- ・自身がひめさゆりネットをもっと活用できるとよい。
- ・情報共有の方法や、どの情報を共有したいのかポイントを絞ることを明日からの業務に活かしたいと思う。
- ・羽生先生が言われたように、どの職種でも遠慮なく、が大切だと思う。
- ・療養手帳とひめさゆりネット両方に記入、入力するのは重複して大変だが、状態を早く共有するためには、やはりひめさゆりも活用していくべきだと思った。（2）
- ・今後もテーマをしぶってもらえるとよいと思った。
- ・医療的な支援が必要な方は、医療面の職種との連携が重要となってくるが、連絡など遠慮せずしようと思う。参加してよかったです。
- ・多職種連携の研修会に参加するたび、その大切さに気付かされる。その方を支えるチームの一員として、それぞれが良い支援を行えることがとても重要だと思う。多職種の皆さんと今後も顔の見える良い関係性を築けるように努めていきたい。
- ・高齢者に多い疾患をテーマに研修してもらったことで、観察ポイントなどを各職種が理解することができたため良かった。今後も継続し実施してほしい。

結果・考察

今年度の多職種連携研修会は、「心不全」をテーマに3回コースで行った。1つの疾患に特化したことで、今回のグループワークで、多職種での情報共有の重要性や各専門職の役割の理解ができたのではないかと考える。また、「参加し改めて多職種連携の大切さに気付かれる。」「グループワーク後の全体共有で違う視点からの意見も聞けて良かった。」等、グループワークの有効性を感じた。今後も実践に活かせる内容を検討していく。